



INDEX

- 第9回 J A 釧路太田酪農祭 2
- 高橋香帆職員 令和6年度全道優績 5
スマイルサポーター顕彰受賞
- 二番草・デントコーン収穫作業終了 6
- J A トピックス 8
- 酪農体験 11
- ぷらっと1グランプリ・ファイナル 12
- 農協法公布記念日メッセージ 13
- 営農ホットライン 14
- みんなの広場 15
- J A インフォメーション 16

今月の表紙は
第9回酪農祭の様子ミル
ご来場、ご協力
ありがとう
ございましたミル



釧路太田農業協同組合



←JA 釧路太田オフィシャルウェブサイト
www.ja-kushirooota.or.jp/

ja 釧路太田





桐木道議会議員より挨拶



徳田会長より挨拶



齋藤組合長より開会挨拶



パークゴルフ大会表彰式

令和7年10月11日(土)、第9回酪農祭が開催されました。10月に入り急激に朝夕の気温が低下し、肌寒い時期となりましたが、秋を感じる晴天の中での開催となりました。

酪農祭に先駆けて9日(木)に行なわれたパークゴルフ大会では、総勢27名が参加し、熱戦が繰り広げられました。男性の部は石鳥谷さん、女性の部は橋本さんがそれぞれ優勝されました。

第9回 J A 鉚路太田 酪農祭

今年は昨年に引き続き、9時30分より受付を開始しましたが、例年同様、長蛇の列が出来る中、10時00分に、主催者である齋藤組合長より開会挨拶をいただき、J A 鉚路太田酪農祭が始まりました。

今年の酪農祭では、厚岸町内で育てられた牛肉を格安で提供し、用意した焼き肉用のコンロを囲みながら焼き始めると、会場内は美味い煙に包まれ、美味しい牛肉や無料提供されたサンマに舌鼓を打ち会話も弾み、冷たいビールを飲みながら楽しい時間を過ごされたと思います。

また、毎年好評のキッチンカーも計6台が出展し、鉚路ザンギやたい焼き、ロングポテトやコーヒー、鹿肉のハンバーガーなどいろいろなグルメが勢ぞろいしました。また、厚岸商工会による子供縁日や職員企画で焼きそばやチャーハンの出店もしました。本年より本格稼働した「極みるくソフト」のキ



ツチンカーにもたくさんの行列ができていました。

最初のステージイベントでは、牛乳の早飲み大会が行なわれ、子供や大人たちが一生懸命にストロ―を使って、牛乳を一気に飲み干し速さを競い合いました。その後はじゃんけん大会が行われ、司会者の掛け声で主催者の中町振興副会長や河村副組合長、中山女性部副部長が、参加者と一緒にけんをしながら、大いに会場も盛り上がっていました。

メインイベントでは、昨年も出演いただき大変好評だった札幌市出身の「おかゆ」さんの歌謡ショーが、11時30分より行われました。ステージ下には、熱烈な「おかゆ」ファンの方も来場され、最新シングル『ジモンジトウ』のほか、老若男女に合わせた様々なジャンルの歌声を10曲以上も披露していただきました。ギターの弾き語りや曲の合間のトークもとても楽しく、公演終了後は、CD販売やサイン会も行われ、来場者にも大人気でした。

その後、参加者全員がお待ちかねのお楽しみ大抽選会が始まりました。たくさんの景品が用意され、

農業関係団体や農機具メーカーをはじめ、齋藤組合長や徳田会長からの景品協賛もいただき、大いに盛り上がりました。最後には、阿寒湖畔「鶴雅ベア宿泊券」2本が抽選されましたが、会場は全員固唾を飲んで見守っていましたが、当選された人の喜びの声と外れた人たちのため息に包まれる中、大抽選会が終了しました。

酪農祭の最後には、関係者らによる餅まきも行われ、子供や大人たちも多くのお菓子やお餅を拾おうと、帽子を高くかざしたり、両手を伸ばして楽しく拾っていました。

閉会式では、中町友幸振興副会長より閉会の挨拶をいただき、盛会に終了した第9回の楽しい酪農祭を締めくくり終了しました。来年もさらに楽しい酪農祭になるように、新しい企画を考えていきたいと思っています。



中町振興会副会長 閉会の挨拶

第9回 JA鉏路太田 酪農祭



令和7年度 全道LA・スマサポ大会

チームで切り開く！
JA共済のあらたな未来



高橋 香帆
職員



JA共済 全道優績スマイル サポーター顕彰を受賞！

令和7年10月7日(火)に共済ホールにおいて、全道LA・スマサポ大会が開催され、当JAの高橋香帆職員が、令和6年度全道優績スマイルサポーター顕彰において、全4部門中、全ての部門で1位を獲得致しました！

今回の顕彰は当JA組合員以外

への推進獲得が対象となっており、幅広い顧客への推進活動の結果を示すものです。

今後も組合員はもちろん、幅広いお客様のニーズに合わせた最適な保険提供が出来るよう努力し、ひと・いえ・くるま全方面でお客様のサポートをしていきます。



令和7年

2番草も デントコーン細断も 収穫作業終了！

今年の2番草については、8月18日より細断収穫作業が開始（法人新播草地は11日～12日）され、約1,150 ha（27戸）の農作業委託面積を3班体制にて収穫を行いました。天候は毎日ぐずついた空模様の日が多く、天気予報も変わりやすく、トータル2～3日間程、雨天等により作業中止となりましたが、8月29日には細断作業は無事終了する事が出来ました。ローカル収穫作業においても10月上旬にはすべて完了致しました。

デントコーンにおいては、前回広報にてお伝えしましたが、春先にかけて、非常に雨も多く、作付圃場造成作業が遅れ、播種も例年より遅かったものの、8月13日の鉋路農業改良普及センターの作況調査では、6月後半から7月にかけて日照時間も長く、気温も高温だった為、生育も良く平年よりも進む

結果となっている事を確認できました。その後も順調に推移し、8月29日には、鉋路農業改良普及センター・ホクレンと協力して、鉋路管内では一足先にデントコーン収量調査及び熟調査を実施。その結果をふまえ、収穫にむけ準備を進め、9月9日より2班体制でJAコントラ農作業委託面積として約390 ha（16戸）予定にて収穫作業が開始されました。

しかしながら、JA及び外部コントラ全体で6戸約90 haで2割ほど収穫を終えた頃、9月13日～14日未明に低気圧による暴風雨により大きく倒伏被害をうけ、今後の熟度・品質・収量に関し、非常に懸念され、早急に収穫する必要がございました。被害面積としては当地区全体でのJA及び外部コントラ委託面積計は約540 ha（22戸）であり、このうち、この時

倒伏被害の様子



点で約450ha(16戸)8割以上が未収穫であり、倒伏割合は個々に違うものの、大きな被害をうけた事になります。

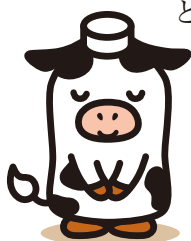
その後、JA及び外部コントラ業者と作業方法や順番等進め方を協議し協力しながら進め、作業としては倒伏されているコーンの向きやコーンのどの節からの折れ位置などにより、コーンアタッチの収穫高調整や往復できず、一方通行を繰り返すなど拾い方に一工夫が必要でオペレーターを悩ませる日々が続き、苦労しましたが、期間としては1週間程通常の収穫よりは遅れましたが、携わった方々



のチームワークにより、無事9月27日には全てのデントコーン収穫を終える事ができました。

これからも秋作業(糞尿散布・耕起・心土破碎・碎土・除草等)がまだあると思いますが、焦らず気持ちに余裕をもって、怪我や事故のないよう農作業を取り進めて下さいますようお願いします。

組合員の皆様をはじめ、コントラ作業に携わったすべての方々に対し、心より感謝申し上げます。本当にありがとうございます。





「くしろ地域8市町村フェア」に出店

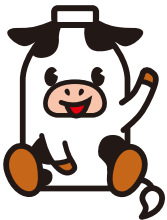
令和7年9月26日(金)～28日(日)の3日間、イオン釧路昭和店で「くしろ地域8市町村フェア」が開催されJA釧路太田も出店致しました。

今回2回目の参加となりましたが昨年同様、極みるく65・極みるくあいす・極びいふ製品の販売を致しました。

極みるく65の試飲を行いました、たくさんの方に「おいしい！」と言っていたいたり、「この牛乳おいしいよね！」と買いに来てくださった方もおり、販売終了を前に完売しました。また、今年ジャパンフードセレクションのグラプリを受賞した極みるくあいすをはじめ、その他商品もたくさんの方に手に取っていただきました。

当日は振興会・青年部・女性部の方にも参加していただき、消費者との交流の場となったと思います。

これからもたくさんの方に商品を知っていただけるよう、今後とも参加し、PRしていきたいと思えます。



道の駅田園の里うりゆう 「秋の大収穫感謝祭」に参加

令和7年9月28日(日)に道の駅田園の里うりゆうで開催された、秋の大収穫感謝祭に厚岸町観光プロモーションの一員として参加させていただきました！

釧路太田農協では、あつけし極みるく65の販売を行い、並んでいく方々に提供し飲んでいただきました。試飲・ふるさと納税用に残しておいたものも、あまりの売れ行きに急遽販売用に回すほどでした。並んでいた買い物を終えた後に、「さっきの牛乳美味しかったから下さい」とたくさんの方があつけ

し極みるくを買いに来てくれたのがとても嬉しかったです。

おかげさまで当日は販売用、試飲・ふるさと納税返礼品用の牛乳を全て売り切ることができました。今回も多くの方にあつけし極みるく65を知ってもらうことができました。貴重な経験となりました。

また、厚岸極びいふ商品につきましても、好調な売り出しとなりました。

道の駅田園の里うりゆうを始めとする関係者の皆様本当にお疲れ様でした。



令和7年度

生乳生産管理記録の 記帳確認に係る巡回実施

酪農家におけるポジティブリスト制度に伴う生乳生産管理記録の記帳確認について、令和7年10月1日～2日の2日間にわたり、搾乳農家全戸の巡回実施を行ないました。

巡回に当たっては、厚岸町役場と釧路東部普及センターにもご協力をいただき、2班体制の総勢6名で記帳状況の確認を行いました。確認内容については、記帳や記録状況の確認のほか、牛舎周辺や処理室内の整理・整頓など、環境



面や衛生面についても確認させていただきました。昨年度の指摘箇所を改善している所も多く見受けられております。

消費者に衛生的で安全・安心な生乳を食卓に届けるために、毎日の生乳生産に係る記帳管理義務が求められておりますので、今一度、管理記録の記帳を徹底いただくとともに、処理室周りの整理・整頓に努め、美味しい生乳を出荷いただきますよう今後もお願いいたします。



「スラリーインジェクター」稼働実演会

令和7年10月8日(水)にJ A 釧路太田堆肥センター周辺の草地利用組合の圃場をお借りし、ホクレン、(株)北海道クボタの主催のもと深層土中施肥機「スラリーインジェクター」の稼働実演会を開催しました。当日は時折小雨が降るあいにくの天気となりましたが、根釧管内の農業改良普及センター、農業試験場、ホクレンなどの関係機関、農協職員など約30名が参加しました。

スラリーの土中施用のデモでは、地表より10 cm ～ 15 cm の深さで3 t / ha の散布を行い、トラクターの走行速度や臭気の実施はほとんどでしたが、臭気に関してはほとんど感じられず、効果の高さが実証される結果となりました。



釧路太田肉牛同志会 パークゴルフ大会開催！

令和7年10月20日(月)9時より、
太田農村公園パークゴルフ場にて
第54回釧路太田肉牛同志会(秋)パ
ークゴルフ大会が開催されました。
天候は良好で、会員15名が参加
され、和気あいあいとした雰囲気
で最後まで楽しくプレーされてい
ました。



プレー結果は、

〈男性の部〉

優勝 永堀 善道さん

準優勝 菅原 正人さん

3位 西野 義幸さん

〈女性の部〉

優勝 永堀 遼子さん

準優勝 橋本 日出子さん

3位 菅原 京子さん

以上が入賞されました。
とても僅差なスコアとなりました。



よつ葉パークゴルフ大会開催！

令和7年10月21日午前9時より、
太田農村公園パークゴルフ場にて
よつ葉乳業(株)根釧工場の共催によ
る工場長杯パークゴルフ大会が開
催されました。

大会当日は天候に恵まれたもの
の、風が冷たく少し肌寒いなかで
はありましたが、太田パークゴルフ
同好会の松浦会長をはじめ、太田・
尾幌の会員の方々を中心に総勢31
名が参加されました。計8組に分
かれ、競い合うなかでも皆さん和
気あいあいとプレーされていました。



プレーの結果は、

〈男性の部〉

優勝 阿部 春美さん

準優勝 佐々木 薫さん

3位 菅原 正人さん

〈女性の部〉

優勝 永堀 遼子さん

準優勝 菅原 京子さん

3位 木原 美知子さん

が入賞されましたが、とても僅差
なスコアとなりました。
皆さんおつかれさまでした！





酪農体験

「酪農体験を終えて」

宮 庄 泰 広

今回の酪農体験では、古川牧場さんにおいて搾乳体験を中心に、牛の寝床清掃や給餌、搾乳機器の装着作業を行ないました。

実際の現場では、限られた時間の中で作業を効率的に進める工夫が求められており、ミルカーの準備や道具の交換作業のタイミングに注意しながら、全体の流れを把握して行動することの大切さを学びました。これにより、より新鮮な状態で生乳を出荷するための作業効率化の重要性を実感しました。

また、2日目には㈱米澤牧場さんを見学しました。米澤さんでは搾乳ロボットや餌寄せロボットなどが導入されており、人の手をほとんど介さずに牧場が経営されている様子を目にして大きな驚きを感じました。

自動化の仕組みや導入コスト、経営面の工夫など、今後さらに深く学びたい分野だと感じました。今回の実習では経営の背景や牧場を始めた経緯などを十分に聞く機会がなかったため、また伺い、次回はその点を詳しく聞きたいと思いました。

最後になりますが、今回の実習では、古川牧場の皆様、見学をさせていただいた㈱米澤牧場さん、JA鉏路太田の職員の方々にご指導・ご協力をいただき大変お世話になりました。ありがとうございました。

当JAにおいて、東京農業大学校（オホーツク）から大学1年生の男性1名（宮庄泰広さん）、8月20日～8月22日まで3日間の日程で古川圭一牧場にて酪農体験の受入をして頂きました。

当JAの酪農体験については、「酪農に関心を持つ人材との交流による長期的な人材獲得への取り組み」として、交通費の全額相当支援など体制整備を行ないながら、農業人フェア等の就農イベントにてPRをしておりました。

実際に生産者の現場の基となる牧場に関心を持ち、学校の夏休みを利用しての酪農体験となりました。

期間中は、牧場見学、極みるく工房見学、町内観光など有意義な時間となり、酪農をはじめ、あつけれ極みるくや海の幸など地域の魅力について十分なPRとなりました。

帰る際にどうだったか尋ねると、「牛がより大好きになった」「また厚岸町にきたい」といった嬉しい声を聞くことができ、厚岸町の酪農に関与できる道に進んで頂きたいと期待したところであります。

今回、受入をして頂いた古川牧場の皆様には、牧場作業や食事をはじめとする生活面まで快く受入にご協力を頂きありがとうございました。

ぷらっと1グランプリ・ファイナル

～極みるく製品を使った美味しい料理に感動!!～

令和7年9月18日、厚岸町保健福祉総合センターあみか21で、一般社団法人地域福祉未来創造社が主催された「障がい者雇用セミナー」が開催されました。そのセミナーの一環で、障がい者のみなさんによる「ぷらっと1グランプリ・ファイナル」が開催されました。厚岸町の新鮮な魚介類と極みるく製品を中心に、それぞれのチームがレシピや予算内での材料調達、メニューテーマやコンセプトまで、みんなで考えたメイン料理やデザートが勢ぞろいしました。

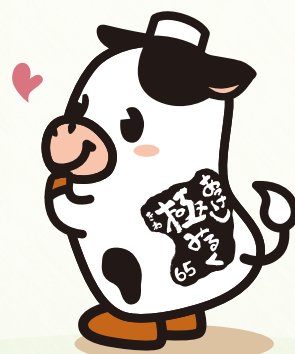
4チームそれぞれが、料理を作るための役割分担がはっきりされ、それぞれが出来ることを協力しながら、真剣な眼差しで調理する姿に感動しました。料理が出来上がり、それぞれのテーマに沿ったプレゼンテーションもとても手が込んでいて解りやすく、実食では障がい者雇用で協力をしている、厚岸漁協、厚岸清掃社と当農協が審査員、市内レストランのシェフが審査委員長となり、4チームの熱い思いのこもった料理をいただきました。

どの料理もとても美味しく、見た目のクオリティも高く、各審査員も絶賛されていました。その中で、採点表を集計した結果、【TEAM 0.00 TO 1.00】が優勝しましたが、本当に接戦で、どの料理も素晴らしかったです。

その中でも、あっけし極みるくを使って、みなさんが色々考えていただいたメニューを、厚岸町内の飲食店などで提供できるといいなと感じました。当農協としても、ぷらっとの方々に「極みるくあいす」のシール張り作業を委託しておりますので、これからも引き続き障がい者雇用の観点からも、お互い協力して歩んで行きたいと思った1日でした。



美味しい料理、
ご馳走さまでした!





農協法配布記念日にあたっての 組合員・役職員へのメッセージ

北海道農業協同組合中央会

代表理事会長

樽 井

功

昭和22年11月19日に農業協同組合法が公布されてから78年が経過しました。

戦後の食糧不足の混乱期に、農業者の協同組織を通じて農業生産力の向上と農業者の地位向上を図り、国民経済の発展に寄与することを目的に制定されたこの法律により、農業協同組合が誕生しました。

農業協同組合は「農業者による農業者のための組織」として、自主・自立、民主的運営を基本に、相互扶助の精神のもと、組合員の営農と生活の安定、地域社会の発展に貢献してきました。

一方、現在、農業・農村を取り巻く環境は大きな変革期を迎えています。気候変動による猛暑や豪雨、円安による資材高騰、国際的な食料需給の不安定化などが農業経営に影響を与えています。

昨年、農政の憲法とも言われる食料・農業・農村基本法の改正により、国民一人一人の食料安全保障の確保と環境と調和のとれた食料システムが基本理念として位置付けられ、世界的な食料需給の不安定化による輸入リスクの増大、環境問題への対応など、日本の農政は大きな転換点を迎えています。

J Aグループ北海道は、改正基本法に基づく農業構造転換対策の予算確保、食料安全保障の強化、持続可能な北海道農業の確立に向けて、組合員の声を国政に届ける活動を継続しています。

国連は、持続可能な生産と消費、食料安全保障、気候変動対策、地域の人々への医療・福祉、働きがいのある人間らしい仕事の創出、すべての人が参加できる社会づくりなど、さまざまな分野で持続可能な開発目標(SDGs)に貢献している協同組合を評価し、その認知の向上と協同組合の振興のために、2025年を国際協同組合年に決めました。

この国際協同組合年を契機に、協同組合の力を再認識し、地域課題の解決と安心で豊かな未来の創造を目指しましょう。

最後になりますが、J Aグループ北海道は、組合員との対話活動を一層強化し、協同組合の理念と精神を組織結集力につなげ、今後とも組合員の皆様が夢と希望を持って営農と生活が続けられる環境を整えること、地域農業とJ Aの発展に全力でサポートすることをお誓い申し上げ、農協法配布記念日にあたってのメッセージと致します。

子牛の寒冷・換気対策

冬場は子牛の寒冷対策のため、牛舎の窓や扉を閉め切りがちになります。しかし換気不良は肺炎、カビ、結露の発生などの要因となるため「寒冷対策」と「換気対策」を両立した飼養管理が重要です。

1. 子牛の寒冷対策

(1) 敷料を厚く敷いて保温効果アップ

敷料をたっぷりと厚く敷くことで、床からの冷えを防ぎ、保温効果も高まります(写真1)。ふん尿で濡れると逆に冷えてしまうため、こまめな敷料の交換・追加を実施しましょう。

(2) カーフジャケットで防寒対策

カーフジャケットを着用することで表皮体温を維持することができ、ネックウォーマーと併用することでより保温効果を高めることができます。特に双子や未熟児、出生直後などの体が小さい子牛に優先して着用させましょう。

(3) 代用乳の増給・銘柄変更でエネルギー確保

子牛は気温が低下すると、寒さに耐えるために必要なエネルギーが増加します。例えば、出生直後～3週齢のホルスタイン子牛では、気温が20℃から0℃に低下すると維持エネルギー要求量が50%以上増加します(表1)。環境変化に合わせ代用乳の増給や高脂肪代用乳への銘柄変更を行い、エネルギーを充足させましょう。

なお、代用乳の増給・銘柄変更により下痢が発生することがあります。実施の際はメーカーや普及センターまでご相談ください。



写真1) 敷料を厚く敷いている事例

環境温度(℃)	維持エネルギー要求量の増加率(%)
20	0
15	13
10	27
5	40
0	54
-5	68

図1) 温度別エネルギー要求量の増加率
※NRC乳牛飼養標準-2001・第7版より作成

2. 子牛の換気対策

ふん尿から発生するアンモニア等によって喉や気管の粘膜が損傷し、肺炎の発症に繋がります。冬場であっても、日中の暖かい時間や風のない時間はできるだけ窓や扉を開放し、換気扇も活用して換気を実施しましょう。ただし牛体に直接風が当たると、体感温度の低下を招き、風邪や下痢の発症に繋がります。コンパネやビニールによる風除けの設置(写真2)などの寒冷対策も併せて行いましょう。

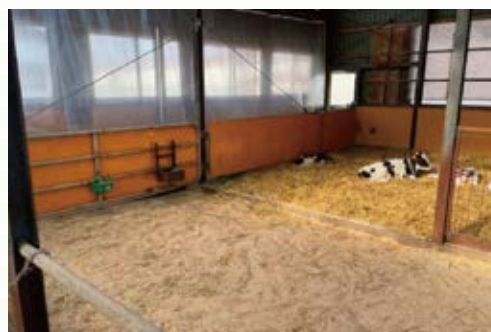
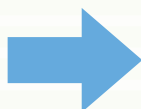


写真2) ベンに風除けを設置した事例

牛も人も十分な寒冷対策を心がけましょう。

■お問い合わせ先／普及センター東部支所 TEL.0153-65-2021



アコースティックギターを独学で始めて5年が経ちました。オリジナル曲も歌ったりして楽しく弾いています。いつか皆さんの前で(笑)

ペンネーム/尚ミント



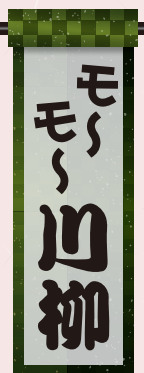
ペンネーム/うさぎ



劇場版それいけ!アンパンマン「ハッピーの大冒険」
公開20周年「ミージャと魔法のランプ」公開10周年

ペンネーム/猫兄貴

皆さんから 牛乳や酪農を題材にした川
柳を募集しています。
秋の日に みんなで楽しむ 酪農祭
(コンサ大好き親父)
秋近し いつまでつづく このあつさ
木の実なく こどりのすがた みえずとも
(うさぎ)



先日の暴風雨は酪農家さん達も大変でしたね。このあとは、好天が続くことを願い、いい季節を満喫させて下さい。

ペンネーム/コンサ大好き親父

編集後記

いつも広報誌をご覧いただきありがとうございます。
今年の酪農祭も皆様のご協力のもと、無事に終える事ができ、ありがとうございました。
午前中は、風が強く寒さを感じていたところ、午後からは幾分風も弱まり、秋晴れの中、良い酪農祭になったなあと思います。
また、前日に開催されたパークゴルフ大会に参加された皆様おつかれさまでした。良い結果だった方、そうじゃなかった方、もおられたと思いますが、来年も参加してくださいね(笑)

編集担当/S.W



第8回 理事会報告

日時／令和7年10月28日(火)

報告事項

1. 令和7年10月中旬現在の生乳生産状況及び9月末クミカン取引状況について

	当農協	釧路管内	※前年対比
10月上旬	103.5%	101.2%	
累計	105.0%	103.5%	

2. 組合員の脱退について
3. 令和7年度JA共済コンプライアンス点検の結果について
4. 離農施設における今後の活用方針について
5. 期中Ⅱ監査（内部監査）の結果について
6. 営農畜産委員会の結果について

議決事項

1. 各種貸付金の貸付承認について
2. 理事に対する貸付金の貸付承認について
3. 貸付金の条件変更について
4. 特定指導農家の経営状況について
5. 令和7年度組合員宅一斉訪問または地区別懇談会の実施（案）について
6. 防衛施設周辺整備事業の入札結果および固定資産の取得について
7. 事務引継規程の一部改正について
8. 給与規程の一部改正について

令和7年
(2025年)

11月

行事予定

2 (日)	文化の日
3 (月)	振替休日
4 (火)	初生集荷
6 (木)	一般市場
7 (金)	育成市場
9 (日)	新・農業人フェア（大阪）
10 (月)	組合員親睦旅行（～13日）
11 (火)	初生集荷
12 (水)	Aマート売出し
13 (木)	一般市場
15 (土)	あつけし牡蠣まつり（～16日）
18 (火)	初生集荷
19 (水)	第9回理事会
20 (木)	一般市場
22 (土)	勤労感謝の日
24 (月)	乳牛市場
25 (火)	初生集荷 地区別懇談会
26 (水)	Aマート売出し
27 (木)	一般市場

JA 綱領

— わたしたちJAがめざすもの —

わたしたちJAの組合員・役員は、協同組合運動の基本的な定義・価値・原則（自主、自立、参加、民主的運営、公正、連帯等）に基づき行動します。そして地球的視野に立って環境変化を見通し、組織・事業・経営の革新をはかります。さらに、地域・全国・世界の協同組合の仲間と連携し、より民主的で公正な社会の実現に努めます。

このため、わたしたちは次のことを通じ、農業と地域社会に根ざした組織としての社会的役割を誠実に果たします。

わたしたちは、

- 一、地域の農業を振興し、わが国の食と緑と水を守ろう。
- 一、環境・文化・福祉への貢献を通じて、安心して暮らせる豊かな地域社会を築こう。
- 一、JAへの積極的な参加と連帯によって、協同の成果を実現しよう。
- 一、自主・自立と民主的運営の基本に立ち、JAを健全に経営し信頼を高めよう。
- 一、協同の理念を学び実践を通じて、共に生きがいを追求しよう。